

教授要綱 シラバス

平成 31 年 3 月 29 日

No.1

授業科目名	歯科英語	講義 実技 演習	担当教員	コガ・エンタープライズ株式会社 代表取締役 古賀 和憲
授業コード	英-2019-1講-前・後			
分 類	必修 選択必修		連絡先	
学 年	1年 ・ 2年			
学 期	前期 ・ 後期			
曜日・回数	水 曜日 15 回 30時間		単位	
時 限	3～4限 10:50 ～ 12:30		2単位	

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※ 歯科専門用語を英語で理解し、世界に通じる歯科技工士を育てる、また
歯科技工のグローバル化に対応できる技工士を育成する。

授業計画・内容 (進度・予定)

回数	内 容	備 考
1 回目	dental anatomy word of direction	2
2 回目	dental Thepermanent teeth, deciduous	2
3 回目	dental Tooth composition	2
4 回目	dental Central incisor, Cuspid	2
5 回目	dental First premolar	2
6 回目	dental Maxillary first molar	2
7 回目	Crown Bridge Prosthetics, iniay	2
8 回目	Crown Bridge Prosthetics, partial coverage crown	2
9 回目	Crown Bridge Prosthetics, Classification of margin	2
10回目	Crown Bridge Prosthetics, Components of bridge	2
11回目	Crown Bridge Prosthetics, Pobtucs	2
12回目	Crown Bridge Prosthetics, Process of crown & bridge technics	2
13回目	Crown Bridge Prosthetics, Working model, Investing	2
14回目	Five basic classes ofinlay preparation	2
15回目	Process of cast metal ceramic crown	2

評価方法

total

30

中間試験と学期末テストによって評価する。

教科書

最新歯科技工士教本 歯科英語 全国歯科技工士教育協議会編集

副読本・資料

各項目ごとのプリント

その他

教授要綱 シラバス

平成 31 年 3 月 29 日

No.1

授業科目名	造形美術概論	講義 実技 演習	担当教員	東京芸術大学 小高 一民
授業コード	美-2019-1実-前	連絡先		
分 類	必修・選択必修			
学 年	1年・2年			
学 期	前期・後期			
曜日・回数	水曜日 10回 30時間	単位		
時 限	5～7限 13:20 ～ 16:00	1単位		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

造形美術概論の理論的背景を基に補綴物製作における関連性を理解する。

造形、色彩について学習し、歯科技工士が修復物などを製作する際に、直接的あるいは間接的に役立つ美的な感覚を養う。

授業計画・内容 (進度・予定)

	備 考	時間
1 回目	幾何形体による構成、描写 1回目	3
2 回目	幾何形体による構成、描写 2回目	3
3 回目	グレースケールをアクリル絵の具を用いて製作して明度の表現をする	3
4 回目	色相環をアクリル絵の具を用いて製作して色の三要素を理解する 1回目	3
5 回目	色相環をアクリル絵の具を用いて製作して色の三要素を理解する 2回目	3
6 回目	サザエの貝殻を粘土を用いてモデリングして立体観察と表現をする 1回目	3
7 回目	サザエの貝殻を粘土を用いてモデリングして立体観察と表現をする 2回目	3
8 回目	サザエの貝殻をポリウレタン樹脂で彫刻して立体観察と表現をする 1回目	3
9 回目	サザエの貝殻をポリウレタン樹脂で彫刻して立体観察と表現をする 2回目	3
10 回目	サザエの貝殻をポリウレタン樹脂で彫刻して立体観察と表現をする 3回目	3

評価方法

total

30

提出物(作品): 着彩・グラデーション及び立体造形(モデリング、カービング)を総合判断する。

評価ポイントは「観察力」「認識力」「表現力」。

教科書	「歯科技工士教本 造形美術概論」 医歯薬出版
副読本・資料	適宜、プリントを配布する。
その他	事前配布等の資料により各自準備をして授業に臨むこと。授業は3コマ×10回なので、授業の予定に 合わせ遅れが生じた場合はデッサン・着彩・立体造形(モデリング、カービング)は授業外時間で完成 させること。

教授要綱 シラバス

平成 31 年 3 月 29 日

No.1

授業科目名	人間共生学	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科技工士専門学校 教員 小口 隆
授業コード	人-2019-2演-前・後	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-6-10	
分類	必修 選択必修			
学年	1年 ・ 2年			
学期	前期 ・ 後期		自宅 045 - 472 - 5101	
曜日・回数	月～金 曜日 回 60時間	単位	携帯	- -
時 限		2単位	E-mail	

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※ 職業従事者として必要な人と接する姿勢を修得するために、共生学に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画・内容 (進度・予定)

		備 考	時間
1 回目	義歯の患者と健常者の違いを理解できる		3
2 回目	義歯の異物感を体験できる		11
3 回目	ワークショップで個々の考え方を理解し、説明できる		3
4 回目	テンポラリークラウンの製作、説明ができる		14
5 回目	患者様の使用している義歯に名前を福祉に貢献できる		7
6 回目	歯の彫刻の説明ができる		12
7 回目	クラウンの制作工程が説明できる		6
8 回目	義歯の製作工程が説明できる		6

評価方法

total

62

提出物(作品):出席状況、プレゼンテーションにより総合的に判断する。

教科書

副読本・資料

各項目ごとのプリント

その他

教授要綱 シラバス

平成 31 年 3 月 29 日

No.1

授業科目名	歯科技工概論	講義 実技 演習	担当教員	学校法人 共生学園 学校長 細井 紀雄
授業コード	概-2019-1講-前	連絡先		
分類	必修・選択必修			
学年	1年・2年			
学期	前期・後期			
曜日・回数	水 金 曜日	17 回	36時間	単位
時 限	3～4限	10:50 ～ 12:30	2単位	
授業の概要と科目のねらい・到達目標 歯科技工学にはどのような科目があるかを知り、学ぶべき内容を知る。歯科技工士の業務を規定している歯科技工士法を学び、医療技術者としての自覚を高める。医の倫理についても理解を深める。 到達目標:①歯科医療の特異性を説明できる。②歯科技工について説明できる。③歯科疾患と歯科技工について説明できる。 ④歯科技工の材料と器具を説明できる。⑤歯科技工のデジタル化について説明できる。				
授業計画・内容 (進度・予定)			備 考	時間
1 回目	第1章 歯科医療と歯科技工 1		細井	2
2 回目	第1章 歯科医療と歯科技工 2, 3, 4		細井	2
3 回目	第2章 歯科技工士の役割 1, 2, 3		細井	2
4 回目	第3章 歯および口腔組織の形態と機能 1, 2		細井	2
5 回目	第3章 歯および口腔組織の形態と機能 3		細井	2
6 回目	第4章 歯科疾患と歯周組織の変化 1, 2, 3, 4		細井	2
7 回目	第4章 歯科疾患と歯周組織の変化 5, 6, 7, 8, 9, 10		細井	2
8 回目	第5章 歯科臨床と歯科技工 1, 2		細井、松本	2
9 回目	第5章 歯科臨床と歯科技工 3, 5, 6, 7, 8		細井、松本	2
10回目	第6章 歯科技工で扱う材料・器具 1, 2, 3, 4, 5		GC 10回、金曜日	3
11回目	第6章 歯科技工の管理と運営 1, 2, 3		細井	2
12回目	第7章 口腔と全身の健康管理 1, 2, 3, 4		細井	2
13回目	第7章 口腔と全身の健康管理 5, 6		細井	2
14回目	第8章 情報リテラシー		細井、勝田	2
15回目	第9章 コミュニケーション		細井	2
16回目	顎顔面補綴		早川 16回、金曜日	2
17回目			山下 17回、金曜日	3
評価方法	出席状況(2/3以上)および期末テスト(60%以上)で評価する。			total 36
教科書	最新歯科技工士教本 歯科技工士管理学 全国歯科技工士教育協議会編集			
副読本・資料	各項目ごとのプリント			
その他	次回の講義内容を各自予習して授業に臨むこと			

教授要綱 シラバス

平成 31 年 3 月 29 日

No.1

授業科目名	歯科技工士関係法規	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科技工士専門学校 教員 山田 昌彦
授業コード	法-2019-2講-前	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-6-10	
分類	必修・選択必修			
学年	1年・2年			
学期	前期・後期		自宅	
曜日・回数	水曜日 8回	16時間	単位	携帯 - -
時限	3～4限	10:50 ～ 12:30	1単位	E-mail

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※衛生行政の概要と歯科技工士法を理解し、歯科技工士免許の位置づけを学ぶ。

※1. 衛生行政の概要を把握し、法律と厚生労働省を中心とした国の仕組みを説明する。2. 歯科技工士法の目的、用語について説明する。3. 歯科技工士免許について説明する。4. 歯科技工士試験について説明する。5. 歯科技工士業務について説明する。6. 歯科技工所の開設について説明する。7. 雑則、罰則、附則について説明する。8. 医療法、歯科医師法、歯科衛生士法との関わりについて説明する。

授業計画・内容 (進度・予定)

	備 考	時間
1 回目	衛生行政の概要	2
2 回目	歯科技工士法1	2
3 回目	歯科技工士法2	2
4 回目	歯科技工士法3	2
5 回目	歯科技工士法4	2
6 回目	歯科技工士法5	2
7 回目	歯科技工士法6	2
8 回目	歯科技工士とその他の衛生法規	2

評価方法

total

16

学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 歯科技工管理学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教 授 要 綱 シ ラ バ ス

平成 31 年 3 月 29 日

No.1

授業科目名	解剖学基礎	講義 実技 演習	担当教員	畠中歯科医院 畠 中 直
授業コード	解基1-2019-1講-前・後	連絡先		
分 類	必修・選択必修			
学 年	1年・2年			
学 期	前期・後期			
曜日・回数	木 曜日	25 回	50時間	単位
時 限	3～4限	10:50 ～ 12:30	3単位	

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※歯の生物学的特性 歯の外形と内形 歯の種類と名称と記号 歯の方向と部位 歯の形態と植立様式 永久歯の形態的特徴 歯の組織と歯周組織の構造
歯の発生、発育および交換 歯と歯周組織および顎口腔の加齢現象 歯の数、形態および色の異常 歯列と咬合について学ぶ ※頭蓋骨の構造 顎顔面の
筋の形態的特徴と機能 顎口腔の神経支配 顎関節の構造と機能 口腔と口蓋の構造 唾液腺の存在部位と役割 舌の構造と役割について学ぶ

授業計画・内容（進度・予定）		備 考	時間
1 回目	歯の定義、機能、特性、植立、外形と内形		2
2 回目	歯の種類と分類、歯の記号と歯式		2
3 回目	歯の名称		2
4 回目	歯の形の概説		2
5 回目	上顎切歯		2
6 回目	下顎切歯		2
7 回目	犬歯		2
8 回目	上顎小臼歯		2
9 回目	下顎小臼歯		2
10回目	上顎大臼歯		2
11回目	下顎大臼歯		2
12回目	乳歯		2
13回目	歯の発生		2
14回目	歯の組織		2
15回目	歯周組織		2

評価方法

学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 口腔、顎顔面解剖学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教授要綱 シラバス

平成 31 年 3 月 29 日

No.2

授業科目名		解剖学基礎 I	講義 実技 演習	担当教員	畠中歯科医院 畠 中 直		
16 回目	歯および歯周組織の加齢現象、歯の異常				2		
17 回目	歯列、咬合				2		
18 回目	脳頭蓋骨				2		
19 回目	顔面頭蓋骨				2		
20 回目	口腔周囲の筋と神経				2		
21 回目	顎関節				2		
22 回目	口腔の隣接機関、口腔				2		
23 回目	口蓋、唾液腺				2		
24 回目	舌				2		
25 回目	咽頭、喉頭				2		
						total	50

教授要綱 シラバス

平成 31 年 3 月 29 日

No.1

授業科目名	解剖学応用	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科技工士専門学校 教員 勝田 崇仁
授業コード	解応-2019-2講-前・後	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-6-10	
分類	必修・選択必修			
学年	1年・2年			
学期	前期・後期		自宅	045 - 472 - 5101
曜日・回数	水、金 曜日 13 回	20時間	単位	携帯 - -
時 限	1. 2、3・4、7限	0~10:40 10:50~12:30 15:10~16:00	1単位	E-mail kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※歯の形態や特徴、歯や顔面の発生、歯の組織、口腔内や頭部の骨・筋肉・神経などについて総合的に応用する。

※学生が、歯の解剖・口腔解剖について知り、各内容について分類、説明ができ問題を読み解くことを目的とする。

授業計画・内容（進度・予定）		備 考	時間
1 回目	歯の概説と特徴 国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		1
2 回目	歯の鑑別・永久歯の形態(1) 国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		1
3 回目	歯の鑑別・永久歯の形態(2) 国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		1
4 回目	歯の鑑別・永久歯の形態(3) 国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		1
5 回目	歯と歯周組織 国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		1
6 回目	歯の発生・歯列と咬合 国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		1
7 回目	頭蓋の骨(1) 国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		2
8 回目	頭蓋の骨(2) 国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		2
9 回目	口腔周囲の筋(1) 国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		2
10回目	口腔周囲の筋(2) 国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		2
11回目	顎関節 国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		2
12回目	口腔 国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		2
13回目	歯の解剖・口腔解剖総まとめ 国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		2

評価方法

total

20

学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 歯の解剖学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教授要綱 シラバス

平成 31 年 3 月 29 日

No.1

授業科目名	顎口腔機能学 基礎	講義 実技 演習	担当教員	鶴見大学歯学部 福島 俊士
授業コード	顎基-2019-2講-前	連絡先		
分類	必修・選択必修			
学年	1年・2年			
学期	前期・後期			
曜日・回数	木曜日 10回	22時間	単位	
時限	3～4限	10:50 ～ 12:30	1単位	

授業の概要と科目のねらい・到達目標

- ※ 顎口腔系の構成要素ごとにそれぞれの機能を学習し、咬合器を通じてそれらを実現する製作手順を修得する。
- ※ 歯列・顎関節・筋肉・神経によって構成される顎口腔系の機能を説明できる。

授業計画・内容 (進度・予定)

	備 考	時間
1 回目	顎口腔系の形態(1): 歯と歯列・骨・筋	2
2 回目	顎口腔系の形態(2): 顎関節・軟組織・神経	2
3 回目	顎口腔系の機能	小テスト(1) 2
4 回目	下顎位	2
5 回目	下顎運動(1)下顎の基本運動	2
6 回目	下顎運動(2)下顎の限界運動・機能運動	2
7 回目	歯の接触様式	小テスト(2) 2
8 回目	咬合器(1): 機構と分類・フェイスボウトランスファー	2
9 回目	咬合器(2): 咬合採得	2
10 回目	咬合検査と顎機能障害	小テスト(3) 2

評価方法

total

20

学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 顎口腔機能学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教授要綱 シラバス

平成 31 年 3 月 29 日

No.1

授業科目名	顎口腔機能学 応用	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科技工士専門学校 教員 勝田 崇仁
授業コード	顎応-2019-2講-後	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-6-10	
分類	必修・選択必修			
学年	1年・2年			
学期	前期・後期		自宅 045 - 472 - 5101	
曜日・回数	木曜日 8回	16時間	単位	携帯 - -
時限	3・4、5・6限	10:50~12:30 13:20~15:00	1単位	E-mail kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※顎の動きや顎の動きに調和した噛み合わせの様々な様式、技工物製作に使用する咬合器について深く理解し、分類するために総合的に実施する。

※学生が各項目について説明することができ、使用器具を正しく選択、取り扱いが行うことができる。

授業計画・内容 (進度・予定)

	備 考	時間
1 回目	顎口腔系の形態・機能	オリジナル編集問題の解答・解説 2
2 回目	下顎位・下顎運動	オリジナル編集問題の解答・解説 2
3 回目	歯の接触様式・咬合器	オリジナル編集問題の解答・解説 2
4 回目	歯と歯列・顎口腔系を構成する骨・顎口腔系に関係する筋・神経支配	オリジナル編集問題の解答・解説 2
5 回目	下顎運動の分析に関係する基準点・基準面 咬合に関する平面	オリジナル編集問題の解答・解説 2
6 回目	下顎位 下顎の基本運動 下顎の限界運動	オリジナル編集問題の解答・解説 2
7 回目	歯の形態と機能 咬頭嵌合位・偏心位における咬合接触	オリジナル編集問題の解答・解説 2
8 回目	咬合器の使用目的 機構と分類 フェイスボウトランスファー 咬合採	オリジナル編集問題の解答・解説 2

評価方法

total

16

学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 顎口腔機能学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教 授 要 綱 シ ラ バ ス

平成 31 年 3 月 29 日

No.1

授業科目名	歯科理工学 基礎 1	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科技工士専門学校 教員 永嶋 正道
授業コード	理基1-2019-1講-前		連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-6-10
分 類	必修・選択必修			
学 年	1年・2年			
学 期	前期・後期			自 宅 045 - 472 - 5101
曜日・回数	火 曜日 15 回	単位	携 帯	- -
時 限	1～2限 9:00～10:40	2単位	E-mail	kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※歯科医療で使用される高分子材料、セラミック材料、複合材料の基礎知識と製作過程を学ぶ。

※各種材料の持つ固有の性質を熟知し、材料学の観点から歯科技工製作時、その補綴物の優位性を判断出来得る人材を育成する。

授業計画・内容 (進度・予定)

	備 考	時間
1 回目	歯科技工と歯科理工学 講義ガイダンス	2
2 回目	物質の構造、機械的性質と試験法	2
3 回目	歯科材料の性質	2
4 回目	印象材 ハイドロコロイド系	2
5 回目	印象材 ラバー系、非弾性、模型材との関係	2
6 回目	模型材 石膏の種類	2
7 回目	石膏の一般的性質	2
8 回目	原型 ワックス	2
9 回目	レジン 加熱、常温重合の組成	2
10回目	加熱重合レジン製作	2
11回目	常温重合レジン、一般的性質、その他の成形法	2
12回目	義歯床関連材料、硬質レジン	2
13回目	陶材焼成	2
14回目	陶材の性質	2
15回目	焼付用陶材 オールセラミック その他の歯科材料	2

評価方法

total

30

学期末テストによって評価する。

教科書

最新歯科技工士教本 歯科理工学 全国歯科技工士教育協議会編集

副読本・資料

各項目ごとのプリント

その他

教授要綱 シラバス

平成 31 年 3 月 29 日

No.1

授業科目名	歯科理工学 基礎 2 講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科技工士専門学校 教員 永嶋 正道
授業コード	理基2-2019-1講-後	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-6-10
分類	必修 ・選択必修		
学年	1年 ・2年		
学期	前期・ 後期		
曜日・回数	火 水 曜日 15 回	単位	自宅 045 - 472 - 5101
時 限	1～2限 9:00～10:40	2単位	携帯 - - E-mail kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※歯科医療で使用される金属材料の基礎知識と製作過程で使用される器具機材について学ぶ。

※各種材料の持つ固有の性質を熟知し、材料学の観点から歯科技工製作時、その補綴物の優位性を判断出来得る人材を育成する。

授業計画・内容 (進度・予定)

	備 考	時間
1 回目	主な歯科用金属 歯科用合金	1回目、1限、火曜日 2
2 回目	貴金属合金	2から15回目まで1限、水曜日 2
3 回目	非貴金属合金	2
4 回目	歯科用金属まとめ	2
5 回目	鑄造理論 埋没材	2
6 回目	石膏系、非石膏系埋没材	2
7 回目	埋没、加熱操作	2
8 回目	鑄造操作	2
9 回目	鑄造機の種類、鑄造体の処理	2
10回目	鑄造欠陥	2
11回目	金属の加工、接合	2
12回目	合金の熱処理 その他の歯科材料	2
13回目	補綴物の仕上げ 機械研磨、化学研磨	2
14回目	補綴物の仕上げ 器具、機械	2
15回目	補綴物の安定性 歯科技工の安全性	2

評価方法

total

30

進級試験によって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 歯科理工学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教 授 要 綱 シ ラ バ ス

平成 31 年 3 月 29 日

No.1

授業科目名	歯科理工学応用	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科技工士専門学校 教員 永嶋 正道
授業コード	CR-2018-1-F	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-6-10	
分 類	必修・選択必修			
学 年	1年・2年			
学 期	前期・後期		自 宅 045 - 472 - 5101	
曜日・回数	月、火 曜日 20 回	単位	携 帯 - -	
時 限	前期7限、後期3～4限15:10～16:00 10:50～12:30	2単位	E-mail	kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※歯科理工学基礎1, 2で修得した知識を基に歯科医療で使用される各材料、器具機材の応用知識と製作方法を学ぶ。

※各種材料の持つ固有の性質を熟知し、材料学の観点から歯科技工製作時、その補綴物の優位性を判断出来得る人材を育成する。

授業計画・内容 (進度・予定)		備 考	時間
1 回目	東京都問題の検証と解説、歯科材料の性質編	1から10まで7限 月曜日	1
2 回目	東京都問題の検証と解説、印象材編		1
3 回目	東京都問題の検証と解説、模型材(石膏)編		1
4 回目	東京都問題の検証と解説、原型(ワックス)編		1
5 回目	東京都問題の検証と解説、レジン成形、編		1
6 回目	東京都問題の検証と解説、セラミック成形編		1
7 回目	東京都問題の検証と解説、合金編		1
8 回目	東京都問題の検証と解説、埋没材編		1
9 回目	東京都問題の検証と解説、鋳造編		1
10 回目	東京都問題の検証と解説、加工、接合、熱処理、仕上げ編		1
11回目	1 埼玉問題の検証と解説	11から20まで3限授業 火曜日	2
12回目	2 埼玉問題の検証と解説		2
13回目	1 千葉問題の検証と解説		2
14回目	2 千葉問題の検証と解説		2
15回目	1 北海道問題の検証と解説		2

教授要綱 シラバス

平成 31 年 3 月 29 日

No.2

授業科目名		歯科理工学応用	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科技工士専門学校 教員 永嶋 正道		
16回目	2 北海道問題の検証と解説				2		
17回目	1 大阪問題の検証と解説				2		
18回目	2 大阪問題の検証と解説				2		
19回目	1 宮城問題の検証と解説				2		
20回目	2 宮城問題の検証と解説				2		
評価方法		total					30
学期末試験、卒業試験によって評価する。							
教科書		最新歯科技工士教本 歯科理工学 全国歯科技工士教育協議会編集					
副読本・資料		各項目ごとのプリント					
その他							

教 授 要 綱 シ ラ バ ス

平成 31 年 3 月 29 日

No.1

授業科目名	全部床義歯技工学	講義 実技 演習	担当教員	鶴見大学 歯学部 石川 千恵子
授業コード	有全-2019-1講-前	連絡先		
分 類	必修・選択必修			
学 年	1年・2年			
学 期	前期・後期			
曜日・回数	月 曜日 15 回 30時間	単位		
時 限	3～4限 10:50 ～ 12:30	2単位		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

- ※ 全部床義歯製作の順序を理解する。
- ※ 全部床義歯製作のための技工操作を修得する。

授業計画・内容 (進度・予定)

	備 考	時間
1 回目	全部床義歯技工学概説と製作順序	2
2 回目	形態的・機能的基礎知識	2
3 回目	審美的基礎知識 全部床義歯の特性	2
4 回目	印象採得・解剖学的ランドマーク・印象とトレー	2
5 回目	精密印象と作業模型・作業模型の処理	2
6 回目	咬合床の製作・咬合器	2
7 回目	咬合器装着と調節・Go-A描記装置の取り付け	2
8 回目	人工歯の種類と選択	2
9 回目	排列・歯肉形成	2
10回目	埋没の前準備と埋没	2
11回目	流蝕・義歯床用レジンの重合	2
12回目	咬合器の再装着	2
13回目	人工歯の削合	2
14回目	研磨・修理	2
15回目	リベースとリライン・金属床	2

評価方法

total

30

学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教 授 要 綱 シ ラ バ ス

平成 31 年 3 月 29 日

No.1

授業科目名	部分床義歯技工学	講義 実技 演習	担当教員	鶴見大学歯学部歯科補綴学 鶴見大学歯学部有床義歯 新保秀仁
授業コード	有部-2019-1講-後	連絡先		
分 類	必修・選択必修			
学 年	1年・2年			
学 期	前期・後期			
曜日・回数	火 曜 日 15 回 30時間	単位		
時 限	1～2限 9:00 ～ 10:40	2単位		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※部分床義歯の構成要素、設計、製作方法を学ぶ

※部分欠損の障害、治療計画を学ぶ

授業計画・内容（進度・予定）

	備 考	時間
1 回目	総論（部分床義歯の意義、歯の欠損に由来する障害）	2
2 回目	部分欠損補綴の分類とパーシャルデンチャーの種類	2
3 回目	支台装置の種類と所要条件	2
4 回目	連結装置の種類と所要条件	2
5 回目	接着と義歯床材料	2
6 回目	診査と設計	2
7 回目	前処置、印象採得	2
8 回目	顎間関係の記録、サベイング、人工歯排列	2
9 回目	金属床の構造とフレームワーク	2
10回目	部分床義歯の製作	2
11回目	試適と装着	2
12回目	装着後の管理と機能評価	2
13回目	様々なパーシャルデンチャー①	2
14回目	様々なパーシャルデンチャー②	2
15回目	様々なパーシャルデンチャー③	2

評価方法

total

30

学期末テストおよび小テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教授要綱 シラバス

平成 31 年 3 月 29 日

No.1

授業科目名	有床義歯技工学 応用 講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科技工士専門学校 教員 小口 隆
授業コード	有応-2019-2講-前・後	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-6-10
分類	必修 ・選択必修		
学年	1年・ 2年		
学期	前期 ・ 後期		自宅 045 - 472 - 5101
曜日・回数	火・水・木 曜日 24回 36時間	単位	携帯 - -
時限	1～2,3～4,7限	2単位	E-mail kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※ 全部床義歯並びに部分床義歯を製作できるようにするために、義歯に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画・内容 (進度・予定)

	備 考	時間
1 回目	有床義歯技工学概説、義歯の構成要素、維持安定	教科書 P.3～23 1
2 回目	全部床義歯の製作、個人トレー製作から標準線記入	教科書 P.23～47 1
3 回目	全部床義歯の製作、全部床に用いる咬合器装着から人工歯排列	教科書P.48～75 1
4 回目	全部床義歯の製作、歯肉形成から義歯研磨	教科書P.75～102 1
5 回目	部分床義歯の構成要素と各分類、支台装置の種類	教科書P.104～146 1
6 回目	部分床義歯の支台装置の種類	教科書P.115～146 1
7 回目	部分床義歯の連結装置、義歯床、人工歯	教科書P.147～157 1
8 回目	部分床義歯の製作、印象採得から咬合器装着	教科書P.158～172 1
9 回目	部分床義歯の製作、クラスプ製作から人工歯排列	教科書P.173～207 1
10回目	部分床義歯の製作、歯肉形成から義歯研磨	教科書P.208～230 1
11回目	義歯修理、リベース、オーバーデンチャー	教科書P.231～253 1
12回目	金属床義歯、その他の有床義歯	教科書P.254～273 1
13～16回	有床義歯技工学の問題の解説	8
14回目	国試対策、全部床義歯の問題の傾向と対策	8
15回目	国試対策、部分床義歯の問題の傾向と対策	8

評価方法

36

学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 口腔、顎顔面解剖学 全国歯科技工士教育協議会編集
読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教授要綱 シラバス

平成 31 年 3 月 29 日

No.1

授業科目名	歯冠修復技工学 基礎	講義 実技 演習	担当教員	山本歯科医院 山本 鉄雄
授業コード	歯基-2019-1講-前・後			
分類	必修・選択必修		連絡先	
学年	1年・2年			
学期	前期・後期			
曜日・回数	月 曜日 25 回 50時間	単位		
時 限	1～2限 9:00 ～ 10:40	3単位		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※歯冠修復治療の手順と補綴物の具備すべき要件を理解し、機能の回復および歯周組織との調和に必要な知識を学ぶ。

※機器と材料の特徴を理解し、機能的および形態的に残存歯牙と調和の取れた補綴物を製作するための基礎的なことを学ぶ。

授業計画・内容（進度・予定）

	備 考	時間
1 回目	歯冠修復技工学の概説	2
2 回目	歯冠修復技工学の概要と種類 3. 全部鋳造冠	2
3 回目	歯冠修復物および架工義歯の要件	2
4 回目	歯冠修復物および架工義歯の要件 2. 物理的要件	2
5 回目	歯冠修復物および架工義歯の要件 4. 審美的要件	2
6 回目	歯冠修復物および架工義歯の製作順序	2
7 回目	歯冠修復物および架工義歯の製作順序 2. 研究模型	2
8 回目	歯冠修復物および架工義歯の製作順序 4. 作業模型	2
9 回目	歯冠修復物および架工義歯の製作順序 5. 支台築造	2
10回目	歯冠修復物および架工義歯の製作順序 5. 支台築造	2
11回目	歯冠修復物および架工義歯の製作順序 7. 咬合器装着	2
12回目	歯冠修復物および架工義歯の製作順序 8. 蝟型形成	2
13回目	歯冠修復物および架工義歯の製作順序 9. 埋没	2
14回目	歯冠修復物および架工義歯の製作順序 10. 鋳造	2
15回目	歯冠修復物および架工義歯の製作順序 11. 連結法	2

評価方法

中間試験および学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教授要綱 シラバス

平成 31 年 3 月 29 日

No.2

授業科目名		講義 実技 演習	担当教員	山本歯科医院 山本 鉄雄	
16 回目	歯冠修復物および架工義歯の製作順序 12. 研磨				2
17 回目	インレー、アンレー、一部被覆冠				2
18 回目	全部被覆冠 1. 全部鑄造冠 1.意義				2
19 回目	全部被覆冠 2. 前装鑄造冠 5.製作法				2
20 回目	2)陶材焼付鑄造冠の製作法 (2)歯冠継続歯				2
21 回目	全部被覆冠 ジャケットクラウン				2
22 回目	全部被覆冠 3. ジャケットクラウン 5.製作法 2)硬質レジンジャケット製作法				2
23 回目	架工義歯 連結部				2
24 回目	架工義歯 製作法 1.固定性架工～製作法2)ワンピース～固定性架工義歯				2
25 回目	架工義歯 製作法 2.半固定性架工義歯の製作法				2
				total	50

教授要綱 シラバス

平成 31 年 3 月 29 日

No.1

授業科目名	歯冠修復 応用	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科技工士専門学校 教員 浅井 和雄
授業コード	歯応-2019-2講-前・後	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-6-10	
分類	必修・選択必修			
学年	1年・2年			
学期	前期・後期		自宅 045 - 472 - 5101	
曜日・回数	火、木 曜日 15 回 24時間	単位	携帯	- -
時 限	1・2、3・4、7限 10:00～10:40 10:50～12:20 15:10～16:00	1単位	E-mail	kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※歯冠修復物及び架工義歯を製作できるようにするために、口腔内での機能及び形態に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画・内容 (進度・予定)		備 考	時間
1 回目	神奈川県国家試験問題の解説1		1
2 回目	神奈川県国家試験問題の解説2		1
3 回目	神奈川県国家試験問題の解説3		1
4 回目	東京都国家試験問題の解説1		1
5 回目	東京都国家試験問題の解説2		1
6 回目	東京都国家試験問題の解説3		1
7 回目	トレー・印象材～		2
8 回目	作業模型トリミング～		2
9 回目	プロビジョナル・レストレーション		2
10回目	蝋形成・埋没・鋳造		2
11回目	インレー・クラウン～		2
12回目	レジン前装冠関係～		2
13回目	ポーセレン関係～		2
14回目	鑑付け・フラックス～		2
15回目	ブリッジ・ボンティック～		2

評価方法

total

24

中間テストと学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

No. 1

その他	
-----	--

No.1

その他	
-----	--

No.1

その他	
-----	--

No.1

その他	
-----	--

No.1

教科書	
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付
その他	

教授要綱 シラバス

平成 31 年 3 月 29 日

No.1

授業科目名	歯科理工学実習	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科技工士専門学校 教員 山田 昌彦
授業コード	理実-2019-1実-前	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-6-10	
分 類	必修・選択必修			
学 年	1年・2年			
学 期	前期・後期		自 宅 045 - 472 - 5101	
曜日・回数	月～金 曜日 10 回		携 帯 - -	
時 限	1～7限		E-mail kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp	

授業の概要と科目のねらい・到達目標

歯科材料の基礎的な製作過程と歯科技工に用いる使用機器、機材の扱い方と特性を実習をととして理解する

授業計画・内容（進度・予定）

回数	内 容	備 考
1 回目	マイクロモーターの使い方 個人購入材料に出席番号の刻印	
2～3 回目	常温重合レジンを使用しブンゼン灯の蓋を製作	
4 回目	印鑑の製作 印面の印象採得ワックスパターン製作～埋没・鋳造	
5 回目	印鑑の製作 印面部研磨～完成	
6 回目	印鑑の製作 柄の製作～埋没、重合	
7 回目	印鑑の製作 柄の部分形態修正～完成	
8～10 回目	実習模型製作 実習に使用する模型を製作	
9 回目		
9 回目		
10 回目		
11 回目		

評価方法

実験データをレポートにまとめ提出

教科書

副読本・資料

資料およびレジュメなどは必要に応じて配付

その他

教授要綱 シラバス

平成 31 年 3 月 29 日

No.1

授業科目名	歯科理工学実験	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科技工士専門学校 教員 山田 昌彦
授業コード	理験-2019-1実-後	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-6-10	
分 類	必修・選択必修			
学 年	1年・ 2年			
学 期	前期・後期			
曜日・回数	金 曜日 8 回			
時 限	1時限～4時限まで 9:00～12:20			
			自 宅	045 - 472 - 5101
			携 帯	- -
			E-mail	kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

歯科技工材料の基礎知識と実験機器、機材の扱い方と特性を実験を通して理解する。

授業計画・内容（進度・予定）		備 考
1 回目	石膏の硬化膨張	担当 勝田
2 回目	埋没材の熱膨張	担当 山田
3 回目	金属の加工硬化	担当 永嶋
4 回目	ワックスの性質	担当 山田
5 回目	レジンの重合	担当 永嶋
6 回目	印象材の硬化時間	担当 勝田
7 回目	鑄造体の適合性	担当 山田
8 回目	陶材の焼成	担当 浅井

評価方法

実験データをレポートにまとめ提出

教科書

副読本・資料

資料およびレジュメなどは必要に応じて配付

その他

教授要綱 シラバス

平成 31 年 3 月 29 日

No.1

授業科目名	全部床義歯技工学基礎実習 講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科技工士専門学校 教員 山田 昌彦
授業コード	全実-2019-1実-前・後	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-6-10
分 類	必修・選択必修		
学 年	1年・2年		
学 期	前期・後期		自 宅 045 - 472 - 5101
曜日・回数	水木金 曜日 53 回		携 帯 - -
時 限	1時限～7時限まで 9:00～16:00		E-mail kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

無歯顎患者に対する治療の流れに沿った実習を行い、全部床義歯の製作方法を習得する。

授業計画・内容（進度・予定）

授業計画・内容（進度・予定）	備 考
1～2回 個人トレーの製作（ 設計	担当 山田
3～4回 個人トレーの製作（ トレー材料の成型	担当 山田
5～7回 個人トレーの製作（ 完成	担当 山田
8 回目 咬合床の製作（ 設計	担当 山田
9～12回 咬合床の製作（ 基礎床の成型	担当 山田
13～17回 咬合床の製作（ 咬合堤の成型	担当 山田
18回目 全部床義歯の製作（ 設計	担当 山田
19～20回 全部床義歯の製作（ 咬合器装着	担当 山田
21～30回 全部床義歯の製作（ 蝕義歯製作・人工歯排列	担当 山田
31～35回 全部床義歯の製作（ 蝕義歯製作・歯肉形成	担当 山田
36～46回 全部床義歯の製作（ 床材料の置換	担当 山田
47～50回 全部床義歯の製作（ 咬合調整	担当 山田
51～53回 全部床義歯の製作（ 研磨・完成	担当 山田

評価方法

- ・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書

・本校オリジナルの実習書を配布する。

副読本・資料

・最新歯科技工士教本 有床義歯技工学

その他

教授要綱 シラバス

平成 31 年 3 月 29 日

No.1

授業科目名	部分床義歯技工学基礎実習 講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科技工士専門学校 教員 山田 昌彦
授業コード	部実-2019-1実-後	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-6-10
分 類	必修・選択必修		
学 年	1年・2年		
学 期	前期・後期		自 宅 045 - 472 - 5101
曜日・回数	水木金 曜日 21 回		携 帯 - -
時 限	1時限～7時限まで 9:00～16:00		E-mail kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

部分床義歯の製作を通して、模型の調査方法や維持装置の製作方法を習得する。

授業計画・内容（進度・予定）

回 目	内 容	備 考
1 回目	部分床義歯の製作（設計）	担当 山田
2～3回	部分床義歯の製作（模型調査）	担当 山田
4～9回	部分床義歯の製作（維持装置の製作）	担当 山田
10～12回	部分床義歯の製作（蠟義歯製作・人工歯排列）	担当 山田
13～14回	部分床義歯の製作（蠟義歯製作・歯肉形成）	担当 山田
15～18回	部分床義歯の製作（床材料の置換）	担当 山田
19～21回	部分床義歯の製作（研磨・完成）	担当 山田

評価方法

- ・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書

・本校オリジナルの実習書を配布する。

副読本・資料

・最新歯科技工士教本 有床義歯技工学

その他

教授要綱 シラバス

平成 31 年 3 月 29 日

No.1

授業科目名	歯冠修復技工学基礎実習 講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科技工士専門学校 教員 山田 昌彦
授業コード	歯冠-2019-1実-前	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-6-10
分 類	必修・選択必修		
学 年	1年・2年		
学 期	前期・後期		自 宅 045 - 472 - 5101
曜日・回数	月・火 曜日 31 回		携 帯 - -
時 限	1時限～7時限まで 9:00～16:00		E-mail kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

各種の歯冠修復及び架工義歯に関する基礎的な器材の取り扱いについて修得する。

歯冠修復における治療の流れを理解し、技工作業を行う。

授業計画・内容（進度・予定）

		備 考
1 回目	インレーの製作（ 模型製作	担当 山田
2～3回	インレーの製作（ 蝋原型製作	担当 山田
4～5回	インレーの製作（ 埋没・鋳造	担当 山田
6～7回	インレーの製作（ 研磨・完成	担当 山田
8～12回	クラウンの製作（ 模型製作	担当 山田
13～18回	クラウンの製作（ 蝋原型製作	担当 山田
19～20回	クラウンの製作（ 埋没・鋳造	担当 山田
21～24回	クラウンの製作（ 研磨・完成	担当 山田
25 回目	メタルコアの製作（ 模型製作	担当 山田
26 回目	メタルコアの製作（ 蝋原型製作	担当 山田
27 回目	メタルコアの製作（ 埋没・鋳造	担当 山田
28 回目	メタルコアの製作（ 研磨・完成	担当 山田
29 回目	TECの製作（ 蝋原型製作	担当 山田
30 回目	TECの製作（ レジンに置換	担当 山田
31 回目	TECの製作（ 研磨・完成	担当 山田

評価方法

- ・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書

・本校オリジナルの実習書を配布する。

副読本・資料

・最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学

その他

教授要綱 シラバス

平成 31 年 3 月 29 日

No.1

授業科目名	歯冠修復技工学応用実習 講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科技工士専門学校 教員 山田 昌彦
授業コード	歯冠-2019-1実-後	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-6-10
分 類	必修・選択必修		
学 年	1年・2年		
学 期	前期・後期		自 宅 045 - 472 - 5101
曜日・回数	月～木 曜日 33 回		携 帯 - -
時 限	1時限～7時限まで 9:00～16:00		E-mail kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

各種の歯冠修復及び架工義歯に関する知識及び技術について修得する。

授業計画・内容（進度・予定）

授業計画・内容（進度・予定）	備 考
1～3回 レジン前装冠の製作（ 模型製作	担当 山田
4～5回 レジン前装冠の製作（ 蝸原型製作	担当 山田
6 回目 レジン前装冠の製作（ 窓開け	担当 山田
7～8回 レジン前装冠の製作（ 埋没・鑄造	担当 山田
9～10 回 レジン前装冠の製作（ 前装部形態修整	担当 山田
11～13回 レジン前装冠の製作（ 歯冠色レジンの築盛	担当 山田
14～15回 レジン前装冠の製作（ レジン部形態修整	担当 山田
16～17回 レジン前装冠の製作（ 研磨・完成	担当 山田
18～20回 ブリッジの製作（ 模型製作	担当 山田
21～23回 ブリッジの製作（ 蝸原型製作	担当 山田
24回目 ブリッジの製作（ ポンテック部の加工	担当 山田
25～26回 ブリッジの製作（ 埋没・鑄造	担当 山田
27～28回 ブリッジの製作（ ポンテック部レジン築盛	担当 山田
29～30回 ブリッジの製作（ レジン部形態修整	担当 山田
31～33回 ブリッジの製作（ 研磨・完成	担当 山田

評価方法

- ・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書

・本校オリジナルの実習書を配布する。

副読本・資料

・最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学

その他

教授要綱 シラバス

平成 31 年 3 月 29 日

No.1

授業科目名	総合歯科実習 I	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科技工士専門学校 教員 山田 昌彦
授業コード	総合-2019-1実-前	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-6-10	
分 類	必修・選択必修			
学 年	1年・2年			
学 期	前期・後期		自 宅 045 - 472 - 5101	
曜日・回数	月火水 曜日 15 回		携 帯 - -	
時 限	5時限～7時限まで 13:20～16:00		E-mail kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp	

授業の概要と科目のねらい・到達目標

人工歯排列や線屈曲の反復練習により、基礎的手技の向上を目指す。

授業計画・内容（進度・予定）

備 考		
担当 山田	1～3回	クラウン模型製作
担当 山田	4 回目	全部床義歯の前歯部人工歯排列・歯肉形成 模型製作
担当 山田	5 回目	全部床義歯の前歯部人工歯排列・歯肉形成 模型製作
担当 山田	6 回目	全部床義歯の前歯部人工歯排列・歯肉形成 実習
担当 山田	7 回目	全部床義歯の前歯部人工歯排列・歯肉形成 実習
担当 山田	8 回目	全部床義歯の臼歯部人工歯排列・歯肉形成 模型製作
担当 山田	9 回目	全部床義歯の臼歯部人工歯排列・歯肉形成 実習
担当 山田	10 回目	全部床義歯の臼歯部人工歯排列・歯肉形成 実習
担当 山田	11 回目	部分床義歯の維持装置線屈曲 模型製作
担当 山田	12 回目	部分床義歯の維持装置線屈曲 実習
担当 山田	13 回目	部分床義歯の維持装置線屈曲 実習
担当 山田	14 回目	部分床義歯の維持装置線屈曲 実習
担当 山田	15 回目	部分床義歯の維持装置線屈曲 実習

評価方法

- ・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書

・本校オリジナルの実習書を配布する。

副読本・資料

・最新歯科技工士教本 有床義歯技工学・歯冠修復技工学

その他

教授要綱 シラバス

平成 31 年 3 月 29 日

No.1

授業科目名	総合歯科実習Ⅱ	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科技工士専門学校 教員 山田 昌彦
授業コード	総合-2019-1実-後	連絡先		〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-6-10
分 類	必修・選択必修			
学 年	1年・ 2年			
学 期	前 期 ・ 後 期			自 宅 045 - 472 - 5101
曜日・回数	金 曜日 40 回			携 帯 - -
時 限	1時限～4時限まで 9:00～12:20			E-mail kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

人工歯排列や線屈曲、歯冠修復補綴物の反復練習により、基礎的手技の向上を目指す。

授業計画・内容（進度・予定）

備 考	
担当 山田	1～3回 全部床義歯の前歯部人工歯排列・歯肉形成 蠟義歯完成まで
担当 山田	4～6回 全部床義歯の前歯部人工歯排列・歯肉形成 蠟義歯完成まで
担当 山田	7～9回 全部床義歯の前歯部人工歯排列・歯肉形成 蠟義歯完成まで
担当 山田	10～12回 全部床義歯の前歯部人工歯排列・歯肉形成 蠟義歯完成まで
担当 山田	10～13回 全部床義歯の前歯部人工歯排列・歯肉形成 蠟義歯完成まで
担当 山田	14～26回 部分床義歯の維持装置線屈曲 実習
担当 山田	27～31回 上下ブリッジ製作(wax up) 模型製作
担当 山田	32～35回 上下ブリッジ製作(wax up) 上顎デモ・wax up
担当 山田	36～37回 上下ブリッジ製作(wax up) 下顎デモ・wax up
担当 山田	38～40回 連結装置製作（屈曲のみ） リンガルバー（屈曲）

評価方法

- ・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書

・本校オリジナルの実習書を配布する。

副読本・資料

・最新歯科技工士教本 有床義歯技工学・歯冠修復技工学

その他

No. 1

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※ 歯科技工士として臨床現場で働くために、部分床ならびに全部床義歯が製作できる知識、技術および、態度を身に付ける。

評価方法

total

18

- ・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。
副読本・資料	・最新歯科技工士教本 有床義歯技工学
その他	

No. 1

その他

No. 1

評価方法		total	29
	・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。		
教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。		
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付		
その他			

教授要綱 シラバス

平成 31 年 3 月 29 日

No.1

授業科目名	矯正歯科技工学実習	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科技工士専門学校 教員 小口 隆
授業コード	理験-2019-1実-後	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-6-10	
分 類	必修・選択必修			
学 年	1年・2年			
学 期	前期・後期		自 宅 045 - 472 - 5101	
曜日・回数	月～金 曜日 13 回		携 帯 - -	
時 限	1～7時限 9:00～12:20		E-mail kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp	

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※ 歯科矯正治療の補綴物を製作できるようにするために、矯正のメカニズムと各種装置に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画・内容（進度・予定）			備 考	時間
1 回目	リンガルアーチ製作	説明・固定バンド製作	担当 小口	7
2 回目	リンガルアーチ製作	主線屈曲	担当 小口	4
3 回目	リンガルアーチ製作	弾線ろう付け・屈曲完成	担当 小口	2
4 回目	保定装置製作（ホーレーの保定装置）	接歯唇側線・維持装置屈曲	担当 小口	3
5 回目	保定装置製作	床部製作完成	担当 小口	7
6～13回	平面屈曲	屈曲（1回に10屈曲）	担当 小口	8
7 回目				
8 回目				

評価方法			total	31
・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。				
教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。			
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付			
その他				

教授要綱 シラバス

平成 31 年 3 月 29 日

No.1

授業科目名	小児歯科技工学実習	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科技工士専門学校 教員 小口 隆
授業コード	小児-2019-2実-後	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-6-10	
分 類	必修・選択必修			
学 年	1年・2年			
学 期	前期・後期		自 宅 045 - 472 - 5101	
曜日・回数	月～金 曜日 7 回		携 帯 - -	
時 限	1～7時限 9:00～12:20		E-mail kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp	

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※ 小児の補綴物を製作できるようにするために、乳歯の特徴と成長発育に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画・内容（進度・予定）			備 考	時間
1 回目	小児義歯 製作	小児義歯の説明・設計	担当 小口	4
2 回目	小児義歯 製作	咬合面レスト製作	担当 小口	2
3 回目	小児義歯 製作	人工歯排列	担当 小口	4
4 回目	小児義歯 製作	形態修正・研磨完成	担当 小口	4
5 回目	クラウンループ製作	説明・既成冠調整	担当 小口	4
6 回目	クラウンループ製作	ループ製作・鑑着	担当 小口	7
7 回目	クラウンループ製作	研磨完成	担当 小口	5

評価方法		total	30
------	--	-------	----

- ・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付
その他	

No.1

その他	
-----	--

No. 1

その他

No. 1

その他	
-----	--

教授要綱 シラバス

平成 31 年 3 月 29 日

No.1

授業科目名	技工実習 総合歯科実習Ⅳ	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科技工士専門学校 教員 勝田 崇仁
授業コード	技実-2019-2実-後			〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-6-10
分 類	必修・選択必修			
学 年	1年・2年			
学 期	前期・後期			
曜日・回数	月～金 曜日 13 回			
時 限	1時限			
			連絡先	自 宅 045 - 472 - 5101
				携 帯 - -
				E-mail kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※ 歯科技工士として臨床現場で働くために、架工、義歯の補綴物製作に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画・内容（進度・予定）			備 考	時間
1 回目	実習使用模型製作	臨床的模型での製作法の習得	担当 勝田	47
2 回目	歯冠修復補綴物の製作	2ピースBrの製作法の習得	担当 勝田	46
3 回目	歯冠修復補綴物の製作	レジン前装Br製作の習得	担当 勝田	70
4 回目	定期試験受験用模型製作	校内試験用の模型製作	担当 勝田	39
5 回目	義歯・クラウン製作の習得	排列・クラウンwaxup反復練習	担当 勝田	25
6 回目	実戦形式の模擬実習	インレーを10個製作	担当 勝田	24
7 回目	歯型彫刻説明	衛生士の学生に彫刻の仕方を説明	担当 小口	12
8 回目	口腔内印象の採得	印象採得後の模型を作業模型にする	担当 小口	3
9 回目	有床義歯補綴物の製作	金属床実習(バーチャルデンチャー)製作	担当 小口	28
10 回目	口蓋板製作	義歯を装着した疑似体験を行う	担当 小口	12
11 回目	歯科技工士の必要能力を復習	歯型彫刻・屈曲・デッサンの反復練習	担当 小口	95

評価方法		total	401
・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。			
教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。		
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付		
その他			

授業コード	歯冠修復技工学 - - 年度 - 学年 - 前・後期					
	CB	-	L	-	2018	- 1 - F・S

歯科英語	DE	Dentistry English
造形美術	FA	Formative Arts
接遇	SS	Service studies
人間共生	HS	Human Symbiosis studies
技工概論	DO	Dental Technology Outline
関係法規	BU	
口腔顎顔	OM	Oral cavity Maxillofacial
顎口腔	SF	Stomatognathic Function
理工学	DM	Dental Materials
有床義歯	FP	Plate denture
歯冠修復	CB	Crown Bridge
歯の解剖	AN	Dental Anatomy
矯正歯科	OD	Orthodontics Technology
小児歯科	PE	Pedodontics Technology

講義	L	Lecture
実習	P	Practical
演習	T	Training

前期	F	The First half year
後期	S	The Second half year